中学校体育連盟功労賞を受賞して

天草市立五和中学校　教諭　松木　秀樹

この度、中学校体育連盟功労賞受賞というお話をいただいたとき、私でいいのだろうかと大変恐縮いたしましたが、これまで出会った生徒、お世話になった先輩や同僚の先生方、そして保護者・地域の方々に感謝しながらお受けすることにいたしました。

昭和５９年４月、熊本県立天草聾学校に新採として赴任しました。１年目は、小学部４年生３名の副担任、２年目からはその３名を引き継ぎ３年間担任をしました。明るく活発な男子２名、明るくおしとやかな女子１名の学級でとても楽しい４年間を過ごすとともに「子どもの目線に立って接していくことの大切さ」を子どもたちから教えてもらった４年間でした。

２校目からがいよいよ念願の体育教師としてのスタートになりましたが、その赴任校を聞いたときに愕然としました。苓北町立都呂々中学校は前年度、全国中学校ハンドボール大会で男子が優勝した学校で、私としては一番避けたい学校でした。当時の監督の矢住嘉孝先生とは以前から教職員ハンドボール大会でお世話になっており、天草聾学校時代も４年間一緒に大会に参加させていただきました。ただ、ハンドボールをしていたのは大会前の２週間程度で、ハンドボールに関しては全くの素人です。そんな私がここでやっていけるのだろうかととても不安でした。案の定１年目、女子は私がベンチに座っているだけで全国大会に駒を進めることができましたが、男子は全国、九州、県、郡市大会等の優勝旗７本を全て返すことになりました。ここで私が驚いたのは、地域や保護者、生徒からも一言の不満も出てこなかったことです。それどころか生徒は目標に向かって黙々と練習に取り組み、保護者も試合の応援や送迎等物心両面から協力をいただきました。私は生徒や保護者に申し訳ない気持ちで一杯でした。

ハンドボールの指導だけでなく中学校の教師としての仕事も初めてで、赴任当初から矢住嘉孝先生には、あらゆる面で指導を仰ぎました。週２回程度、約２年間ハンドボールの指導はもちろん授業や体育的行事、生徒指導等、時には夜遅くなることが何度もあり、矢住先生のご家族、特に奥様には大変ご迷惑をおかけしました。

都呂々中時代の７年間は、体育教師としてだけでなく中学校の教員としての基礎を築いた７年間でした。ハンドボールの指導だけでなく体育の授業も自分としては随分研究したつもりです。授業に生かすために他の先生方の授業も空き時間に見学させていただきましたし、学級経営、進路指導も先輩教師の指導を参考にさせていただきました。道徳も３年間文科省の研究指定校となり、夜遅くまで指導案を練ったことも今では良い思い出です。それらのことが体育の授業や部活動指導に役立ったと思います。「体育の授業を大切にしながら、自分がしなければいけないこと、できることを誠実に精一杯やる」ということを学んだ７年間でした。

その後、またもや矢住先生の後任として佐伊津中７年間、そして本渡東中５年間、五和西中５年間、統合して五和中５年間、同じ地域に長い間務められたことを幸せに思います。ただ、運動の二極化が進む現在「運動が苦手な生徒を体育(運動)好きにさせる」ことを第一に考えながら取り組んできましたが、どれだけできたのか一抹の不安を感じます。

教職生活も残りわずかですが、これまでに出会った生徒たち、お世話になった中学校や高校の先生方、保護者や地域の方々などたくさんの出会いと支えに感謝しながら、私が中学校からの夢であった体育教師としての仕事を最後まで楽しみたいと思います。

最後になりましたが、県中体研、研中体連のますますの発展と会員の先生方のご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただきました多くの先生方に感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。